

## 当院は地域医療支援病院です

### ●地域医療支援病院とは●

診療所やクリニックなど、日常的な診療（一次医療）を行う施設を「かかりつけ医」と呼びますが、このかかりつけ医を支援し、専門的医療や救急医療、入院診療等をおこなうことができ、地域医療の中核を担う体制を整備されていて、各都道府県の承認を受けた病院のことを「地域医療支援病院」と呼びます。

当院は、平成10年9月に承認を受け、東京都内では1番最初に地域医療支援病院となりました。

### ●地域医療支援病院になるには、主にこのような要件があります●

- 基本的にはかかりつけ医からの紹介制。  
症状が落ち着いたら、かかりつけ医に引き続き患者さんを見てもらう連携体制ができています。
- 救急患者の受入れを行っている。
- 地域のかかりつけ医に、当院の施設・設備を利用してもらったり、一緒に診療を行ったりしている。
- ベット数が200床以上ある。
- 地域の医師をはじめとする医療従事者向けの研修会を行っている。
- 集中治療室など規定を満たす必要な施設が整っている。

### ●かかりつけ医を持ちましょう●

#### 「かかりつけ医」を持つことのメリット

- 普段の体調、生活習慣、病歴等がわかっていますので、体調に変化があった時に病気の早期発見につながります。
- 比較的待ち時間が短く、受診の手続きも簡単で、時間をかけた診察が受けられます。
- 入院治療や特殊な検査が必要な場合には、適切な病院・診療科を紹介してくれます。

・・・など



日常の診療は「かかりつけ医」  
専門的医療は「多摩南部地域病院」  
「かかりつけ医」  
を持ちましょう

身近で安心

当院は、急性期医療を提供する役割を担っています。当院での治療が終了し、症状が安定されれば、お近くの「かかりつけ医」を紹介していきます。

患者さん

1 かかりつけ医 (診療所、クリニック)  
- 日常の診療、経過観察  
- 慢性疾患の管理  
- 療育の支援  
- 療養生活の指導管理

2 連携  
- 紹介状の発行・受け取り  
- 検査結果の共有

3 多摩南部地域病院  
- 入院が必要な治療  
- 重症な患者さんの治療  
- 専門的な検査、治療

多摩南部地域病院は、地域の医療機関と連携をとりながら患者さんをサポートしていきます。

※急性期医療とは、入院が必要な治療や専門的な検査・治療をおこなうことです。

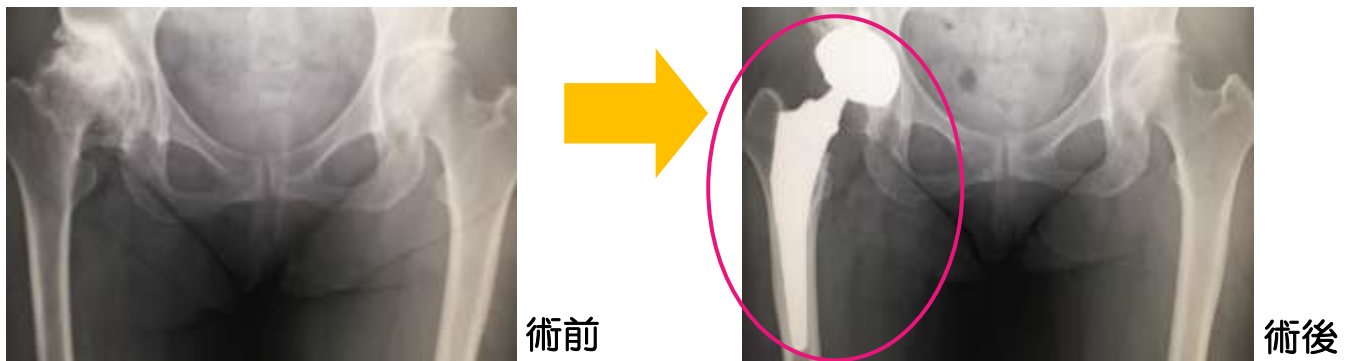
♪ お問い合わせ 患者支援センター 地域連携部門 ♪

♪ 多摩南三二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

## 当院の股関節の手術について

変形性股関節症とは股関節の軟骨がすり減ってしまう病気です。原因として生まれつきの股関節の障害（先天性股関節脱臼など）や加齢に伴う変化などがあります。それらによって軟骨がすり減ってしまい、さらには股関節自身が変形してしまって歩いた時に痛みが出るようになります。さらに症状が進んでしまうと、痛みが何もしていなくても出るようになってしまいます。

当院では薬やリハビリテーション等の手術以外での方法で痛みがよくなり日常生活で困っている場合は、手術（人工股関節全置換術：THA）をして痛みをなくしております。



変形してしまった大腿骨(ふとももの骨)と臼蓋(大腿骨の受け皿にあたる骨)を、金属とポリエチレン(非常に高精度なプラスチック)に変えることで痛みをなくすることができます。

当院では体への負担が最小限になるように最先端のMIS（最小侵襲手術）人工股関節手術を採用しております。これは単に皮膚の切開部分が小さいだけではありません。下の右図のように筋肉を切らずに筋肉と筋肉の間を入れていくこと（前外側進入法：ALS）により股関節周りの筋肉を傷めずに温存することができます。これにより脱臼の予防、術後疼痛の軽減、早期社会復帰を可能としております。

またこの手術は手術中も仰向けで行う手術方法（従来は体を横向きに行っておりました）ですので手術中の体への負担の軽減や金属の設置もより正確に行うことができるようになっております。

### 従来法



点線の部位の筋肉を切離して股関節まで進入していきます。

### 当院での方法（前外側進入法）



点線の部位から股関節まで筋肉を切らずに進入していきます。

筋肉と筋肉の間を割って股関節まで進入します。

筋肉などの体への負担が最小限となります。

疼痛の軽減。

術後早期のADL（日常生活動作）の回復。脱臼の予防。などにつながります。

整形外科 医員 向笠 文博

**☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。**